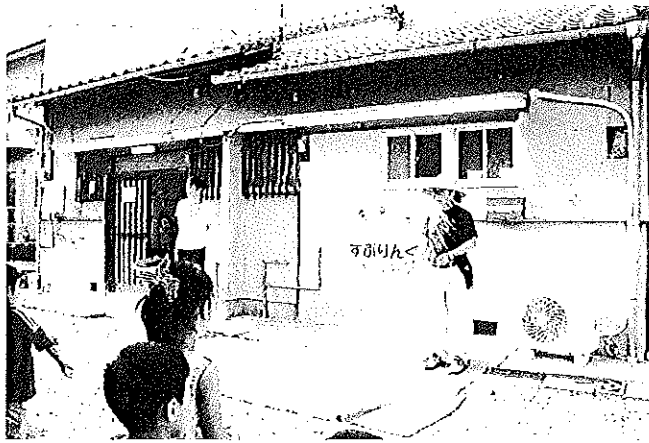


# 発達支援へ 子どもの居場所誕生

## 宇治・槇島のNPO

### 「すぷりんぐ」が開館



開所したフリースペース「すぷりんぐ」

子どもの発達支援などに取り組んでい

るNPO法人アッセル舎「ころぼっこ

の家」(宇治市槇島町大幡、亀口公一会

学ぶ・相談する)の

3つの柱で開設した

地域の居場所を、大いに活用して」と語

った。亀口会長は、開設した居場所への期待を込めてあいさつした。

ル舎)「ころぼっこ」が誕生し、5日に開館式を開いた。

様々な悩みや不安を抱える子どもたちや親が安心して駆け込める居場所にして

もらおうと「ころぼ

つくるの家」に隣接する民家に開設した。

「創る」「学ぶ」「相談する」の3つ

を軸に、槇島地域を中心に不登校やひきこもり、学習や友人関係の悩みのある小

学生、高校生を対象に火曜(金曜(午前10時(午後5時)まで開館する。

開館式は親子連れや関係者ら約40人が参加。ソーシャルワ

カーで館長の原田康信さんが「創る・学

ぶ・相談する」の3つの柱で開設した

地域の居場所を、大いに活用して」と語

った。亀口会長は、開設した居場所への期待を込めてあいさつした。

スタッフは原田館長のほか親子塾の亀口誠子さん、心理発達相談室室長の亀口

会長(カウンセラ

ー)、プロシエクト

コーディネーターの

亀口まかさん(龍谷

大学教員)、大学生

ボランティアなど13人が務める。

アッセル舎は「共に育つ子どもたちへ」を

合い言葉に08年にオープン。臨床発達心理

士として長年にわたって子どもと向き

合ってきた亀口さんが、発達のつまずき

や問題を抱える子どもを対象に児童デイサービスの活動を始めた。

児童デイのメニューを児童発達支援(幼児対象)、放課

後等デイサービス(小学生、中学生対象)、子ども訪問

こぼこぼの3事業に再編。対象児の年齢幅を広げ、子ども

たちがより利用しやすい活動空間づくり

に努めている。

昨年4月からは障害の有無にかかわらず特別な支援を必要とする0歳~18歳の子どもを対象に発達相談支援を行う相談支援室「ぴりか」を開所。心理士など専門員を配置して様々

な困難を抱える子どもの育ちの支援に向けたサービス利用計画を無料で策定し、発達相談の分野でのケアマネージャー的な活動を通して、切れ目のない親子支援をめざしている。

「すぷりんぐ」の定員は1日10人程度、利用料は千円。利用曜日、送迎などは面談の上、確認・決定する。問い合わせはアッセル舎 ☎34-2382まで。

【岡本幸一】